

社会

➔ 6年生 | 「戦争と人々の暮らし」

消えた地図記号から戦争を考えよう！

1. はじめに

社会科は他の教科と比べて、学習内容が変わることが多い教科である。例えば鎌倉幕府の成立は、「いづくに作ろう」と覚えたものだが、現在は1192年より前に成立していたという説が定説となっている。地図記号も同様に、老人ホームなど新しくできた記号もあれば、電報・電話局のように現在は使われていない地図記号もある。今回は、身近な地区の古地図から消えた地図記号を探し、過去の戦争について考える授業プランを紹介する。

2. 日本の地域の古地図を探そう

まず、自分の地域の古地図を探そう！ 本物が入手できれば一番いいのだが（国土地理院では有料だがどの地区でも入手可能）、地域によってはネットで無料で入手することもできる。今回は、国際日本文化研究センターの所蔵地図データベース <http://tois.nichibun.ac.jp/chizu/> から私の勤務している佐倉市の地図を入手した。明治42年発行の5万分の1の佐倉の地図である。このサイトには全国のかなりの地域の地図があるのでおすすめである。

3. 現在と違う地図記号に気づかせよう

この地図から必要な部分を抜き出して児童に配付し、気がついたことをノートに書かせた後、発表させる。すると、田の地図記号が現在の記号と違い、下に1本線が引いてあるものや、2本引かれているものもあることがわかる。どちらも田の地図記号であることを知らせ、この2つの田の違いは何かを考えさせる。

実は、時代によって異なるのだが、この地図が作製された明治42年は、**⏟**は乾田（刈り取りが終わった冬場は乾燥した土地になる）、**⏟**は沼田（冬場でもぬかるんでいる）と使い分けられていた。なぜこのような区分があったのだろうか。「水害に備えるため」といった予想が出るかもしれないが、これは軍隊が通行可能かどうかを判断するためのものである。当時、この地図を作製していたのは大日本帝國陸地測量部で、陸軍が軍事上の重要な情報としてまとめていたのである。

大正～昭和30年頃までは、田はさらに細かく区分され、**⏟**が乾田（兵隊・戦車・大砲が通行可能）、**⏟**が水田（兵隊・戦車が通行可能）、**⏟**が沼田（すべて通行不可能）の3つに分けられていた。戦後、平和主義憲法が導入され、こうした区分が不必要となったため、現在、田の地図記号は1種類しかないのである。

ちなみに、小学生が使っている地図に製鉄所などの軍事上の重要施設がのっている国は珍しいようで、地図記号や地図帳からも平和な日本の姿を見ることができる。



(明治42年発行5万分の1地形図「佐倉」)